

2019 SHINGEKI

福祉園慰問公演

7月5日（金）今年で4回目となる新篠津福祉園での慰問公演が行われました。毎年、お年寄りの皆様が楽しめる内容の演目に取り組んでいます。今年は昨年に引き続き落語劇に挑戦。「時そば」と「芝浜」を2グループに分かれて演じました。

「時そば」は有名な話ではありますが、演技がしっかりお客様に伝わらないとオチがわからない。また、「芝浜」も有名な人情話ですが、夫婦の変化をどうみせるかが大事な難しい。そんな新しい挑戦でした。福祉園の皆様には少し難しいお芝居になってしまったかもしれませんが、特に新入部員ははじめてお客様にお芝居を伝えるという経験を積むことができました。

今年は特に、スタッフ（舞台監督、照明、音響、大道具、小道具）を部員達でやることにも挑戦。練習の合間をみて小道具、大道具を作ったり、用意したり、照明や音響のきっかけを考えたりしました。演じるだけではなく、舞台全体を創り上げるために裏方の仕事も重要なことを学ぶことができたのではないかと思います。



音響と照明の練習中。きっかけを間違わないように。



一つ、二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ、八つ、「今何どきだい?」「へえ、九つです。」・・・時そば名場面。



魚やとしてすっかりまじめに働き始めた勝五郎。担いでいる盤台は小道具係で作りました。



公演を終え、ダンス部と一緒に記念写真。